



## 市民公開講座 「こどもの健康教室」を開催して

3月21日(祝)に津駅前のアスト津4階のアストホールにおいて、Healthy children project(HCP)委員会企画による市民公開講座「子どもの健康教室」を開催したことを4月号でもお伝えしましたが、今月は各講演について簡単にご紹介したいと思います。

最初は、パネルディスカッション『ことばを育てるために～ことばの発達に関わる聴こえ』でした。まず、貝沼小児科医師より『子どもの発達に伴う言葉の獲得、また獲得が不十分な際に小児科医として考えること』について、次に増田耳鼻いんこう科医長より『子どものきこえとことば』について難聴の疑似体験を交えながら、子どもの難聴とはどのようなものか、きこえにくいと感じたときどうしたら良いかなどのお話がありました。最後に鶴岡言語聴覚士より、『ことばの遅れ、発音が明瞭でない』に関して「ことばかけのヒント」の説明がありました。その三者のパネルディスカッションでは、「テレビから音声を流しっぱなしにするのは、どうでしょうか」とのテーマに対して、「一方的に情報が流されることは好ましくなく、双方向のコミュニケーションが大事」との説明がなされ、会場からも大きなうなずきがありました。

講演『アレルギーに関する食育』は、内田管理栄養士が、食物アレルギーに対するバランスの良い食事について、鶏卵・小麦・牛乳などアレルギーの主原因となる食事の代替食、調理の工夫について説明しました。

「自分の手のひらを利用して、だいたいの食べる量がわかります」という説明には、多くの方が両手を開いたり、げんこつを握るなど、実感を込めて聴講されていました。また、アレルギーに関しては、



来場者からも関心の高いところであり、「代替食の購入先や価格」について質疑がありました。

2番目の講演は、服部感染管理認定看護師が、ノロウイルスに感染した場合

の洗濯、おむつ処理、食器や哺乳瓶の取り扱いについて、説明しました。昨年、NHKの取材で放送された映像を流し、吐物をどのように処理するのか、皆さん熱心に見入られる様子が印象的でした。

最後は特別講演「保育園、幼稚園での感染症対策」で、庵原院長が、①感染源対策、②感染経路対策、③感受性宿主対策に分け、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの話も交え説明をしました。会場からは、「予防接種の時期は、何歳頃が適しているのか」と質問もあり、皆さん熱心に聴講されたようでした。

当日は、同じフロアに託児室を用意し、会場ホールにはアレルギー食や感染対策などのポスターを展示しました。講演の合間や帰り際には熱心に質問される方もみえました。

今後も病院職員ともども、緑が丘特別支援学校の先生方のバックアップを受けながら、子ども達の健康増進や子育て支援のための企画を考えていきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

(HCP委員会委員 中谷 晶光)

### 医療福祉相談室 だより

#### 患者レポート体制があるってご存知ですか

当院は、外来、入院患者様・ご家族様の不安解消、並びに安全な医療の提供を行うために医療福祉、医療安全管理、苦情等に関する相談窓口があります。

窓口では、患者様等からの相談に対して、医療有資格者等、相談内容に応じた適切な職種が対応できる体制をとっています。

- 例) ● 外来診療、入院診療、患者サービスに関する相談  
● 病院における施設、設備に関する相談

- 医療安全に関する相談
- 経済・受診受療上の相談
- 心理社会的相談など生活上の問題

など、幅広くご相談を受付けております。

相談窓口は、病院正面受付となっております。受付時間は平日8:30～17:15です。

相談内容は、相談者のご了解なしに外にもれることはありませんので、一人で悩まず、ご相談ください。

(退院調整看護師長 仲野 里美)

